

✓ SPARK! Plan

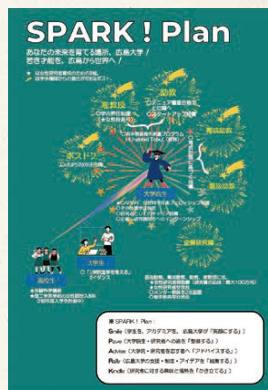
広島大学では、大学入学前から、研究者としてのキャリアを形成していくための、さまざまなサポート（研究環境整備、研究活動支援、キャリア形成支援、進路選択支援、経済支援、雇用支援、仕事と家庭の両立支援等）を行っています。

そうした、研究者育成に関する広島大学の取組を包括したものが「SPARK! Plan」です。

SPARK! Planのウェブサイトでは、研究者を目指す学生向けの支援情報も掲載しています。



SPARK! Planのウェブサイトはこちらから！



令和3(2021)年度採択 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型) 女性科学技術フェローシップ制度の創設による次世代の積極的育成

広島大学では、研究者を志す理工系の女性学生を増加させることを目指し、「女性科学技術フェローシップ制度の創設による次世代の積極的育成(令和3年度～令和8年度)」を実施しています。

本プログラムでは、以下の3つの取組みを行っています。

取組1 女性科学技術フェローシップ制度

博士課程前期2年次の学生(理工系女性M2奨学生)と、博士課程後期の学生(理工系女性リサーチフェロー)を対象に、研究専念支援経費(生活費相当額)と研究費を支給する制度です。進学における経済的不安を緩和するとともに、学生自身がやりたい研究への挑戦を支援することで、研究に専念できる環境を提供します。

また、理工系女性M2奨学生が本学の博士課程後期に進学した場合には、継続して理工系女性リサーチフェローに採用することを保証します。

取組2 女性研究者の研究効率向上

女性研究者の研究効率向上のため、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所(NII)のオープンサイエンス基盤研究センター(RCOS)が運用している、研究データ管理基盤「GakuNin RDM」を本学の女性研究者が使用できるようなシステムを構築し、これを活用することにより、組織の垣根を越えて複数の研究者と迅速に研究データを管理・共有することを可能にします。

取組3 女性研究者のトランスファラブルな能力の向上

英国の非営利全国ネットワーク組織「Vitae」と連携し、Vitaeが開発し20カ国200以上の研究機関で用いられている研究者開発フレームワーク(Researcher Development Framework: RDF)を日本国内向けに翻訳し、研究者が自己評価を行うための基盤を構築しています。この研究者開発フレームワーク(RDF)を基盤とした若手研究者ポータルHIRAKU-PFを活用することで、女性研究者の研究力向上やトランスファラブルな能力の開発を実施します。



女性科学技術フェローシップ制度



採用学生インタビュー

広島大学男女共同参画推進室

〒739-8511 広島県東広島市鏡山1丁目3番2号 TEL: 082-424-4428 HP: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/>

広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構ダイバーシティ研究センター

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号 TEL: 082-424-4559 HP: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/diversity/>

あなたが あなたの道を 歩むために

広島大学の男女共同参画2024

広島大学男女共同参画宣言

基本方針

- 1 教育・研究・就業の場における男女平等の推進
- 2 性別に基づく差別や排除を助長する制度・慣行の見直し・改善
- 3 大学運営における意思決定への男女共同参画の推進
- 4 家庭生活と教育・研究・就業とを両立させるための男女への支援
- 5 地域社会・国際社会との連携を通じた男女共同参画の推進
- 6 男女共同参画の啓発活動と教育研究の推進

平成18(2006)年10月17日 広島大学

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/about/sengen/>

男女共同参画について考えてみよう

「男女共同参画社会」とは、個人がその性別に縛られることなく、各自の個性を伸ばし、活かせる社会、そして、男女が家庭、学校、職場、地域など社会のさまざまな場面で、同等の権利と責任を持って意思決定し、実行する社会のことです。

広島大学は、平成18(2006)年に男女共同参画宣言を表明し、平成20(2008)年には男女共同参画推進室を設置して、積極的に男女共同参画を推進する体制を整備しました。以来、広島大学では、構成員が性別にかかわらずそれぞれの個性と能力を発揮し、より高めあえる職場環境・教育環境にすることを目的として男女共同参画の推進に取り組んでいます。

「組織としての意思決定の場にふさわしい能力を、男女にかかわらずもつことができるような教育と研究の場をつくる、そしてそのような考えを持つ人間を社会に排出する」、これが大学の役割です。したがって、大学において、男女共同参画を推進して、機会均等・適材適所の職場環境を構築すること、教職員がそのような意識を持つこと、そのような意識のもとで次世代を育成することは、非常に重要です。

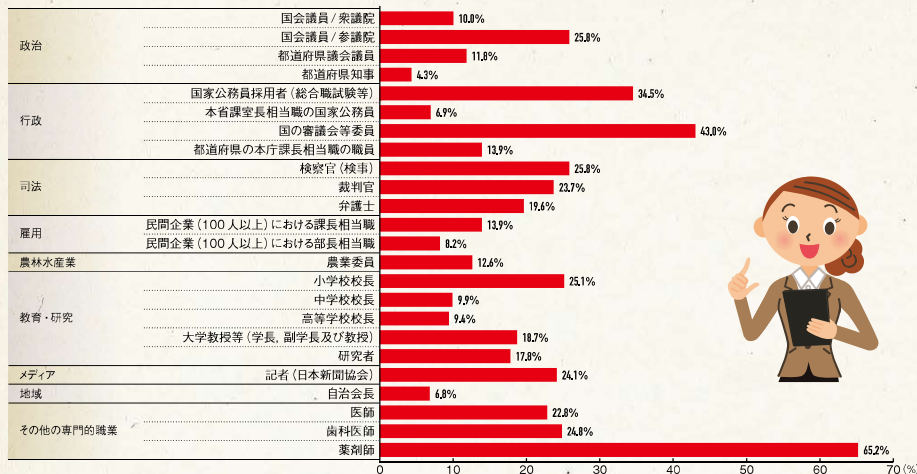
大学生の皆さんには、自分の将来の進路や人生の送り方を考える時が在学中に来ると思います。そのような時に、ぜひ、男女共同参画に関心をもって、性別にかかわらず、自分らしい人生を歩むためには何をしたいのか、何をすればいいのか、を考えてみてください。そんなときの助けになればと、このパンフレットでは、日本における男女共同参画の現状と広島大学における男女共同参画の取り組みを紹介します。

1 | 日本における男女共同参画

日本は、世界の中で生活や教育水準などが高い国の一つです。いわゆる豊かな国を示す「人間開発指数(HDI)」における令和3(2021)年の値は、日本は191の国と地域中19位です。しかし、令和5(2023)年発表の男女平等の度合いを測る世界経済フォーラムによる「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」では146か国中125位と非常に低い順位です。

日本では、女性の社会進出が進み、全体として女性就業者の割合は拡大傾向にあります。以下グラフに示す通り、国会議員や知事、民間企業の管理職などの各分野に女性が占める割合はまだ低いのが現状です。こうしたことが、日本のGGIにおける順位が非常に低い要因です。

各分野における女性の割合

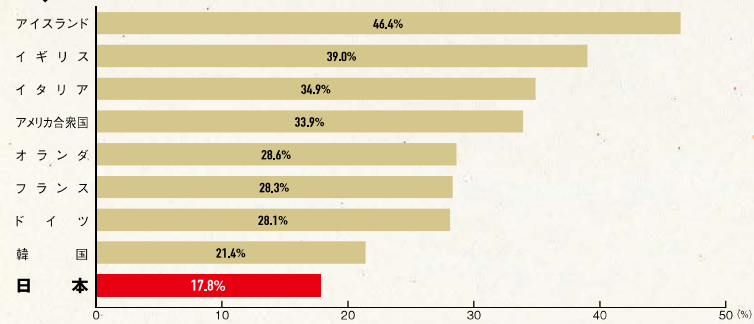


(備考)
1. 令和2年版「男女共同参画白書」の「各分野における主な「指導的地位」に女性が占める割合」に掲載されていた分野・職業を参考に、令和4年度「女性の政策・方針決定参画状況調べ」より作成。
2. その他の専門的職業は令和2年度値。検察官(検事)、裁判官、研究者は令和3年度値。左記以外は、令和4年度値。

「指導的地位」の定義…男女共同参画会議決定(平成19(2007)年2月14日)において、「①議会議員、②法人・団体等における課長相当職以上の者、③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者とするのが適当」とされている。
なお、当該決定において「指導的地位」の定義に該当する者として掲げられた分野・項目は、代表例・例示という位置づけであって、それに含まれないことをもって指導的地位ではないということの意味するものではないとされている。(引用:令和2年版男女共同参画白書)

研究者に占める女性の割合をみてみると、令和4(2022)年3月31日現在で日本は17.8%にとどまっており、ここでも日本は諸外国と比べて低い状況です。

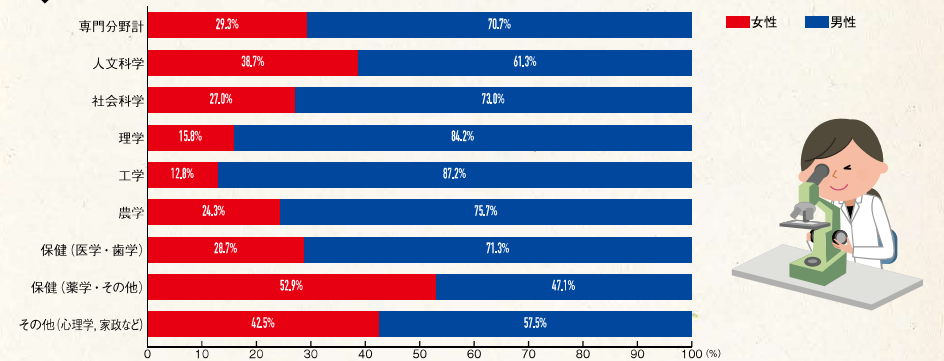
研究者に占める女性の割合(国際比較)



(備考)
1. 経済省「科学技術研究調査」(令和4(2022)年)より作成。
2. 日本の数値は令和4(2022)年3月31日現在の値。アイスランド、フランスは平成29(2017)年値。イタリア、オランダ、韓国は令和2(2020)年値。
3. その他の国は令和元(2019)年値。
3. アメリカ合衆国は、雇用されている科学者(Scientists)に関する数値。

日本における大学等の研究本務者に占める女性の割合を分野別にみると、保健(薬学・その他)の分野では女性が半数以上を占める一方で、工学分野は、12.8%、理学分野は、15.8%にとどまっており、分野間で偏りが見られます。

専門分野別に見た大学等の研究本務者の男女別割合



(備考)
1. 経済省「科学技術研究調査」(令和4(2022)年)より作成。
2. 「大学等」は、大学の学部、短期大学、大学附属研究所等。
3. 「保健(薬学・その他)」における「その他」は、保健分野における「医学・歯学」「薬学」を除いた数値。

日本政府の第5次男女共同参画基本計画では、2020年代の可能な限り早期に指導的地位に女性が占める割合が30%程度となるよう取り組みを進めるとし、第6期科学技術・イノベーション基本計画では、大学における女性研究者の新規採用割合を、2025年度までに、理学系20%、工学系15%、農学系30%、医学・歯学・薬学系合わせて30%、人文科学系45%、社会科学系30%とするよう数値目標を示しています。

こうした男女共同参画に関連する日本の様々な法律や、ジェンダー平等に関する様々な文献を、広島大学男女共同参画推進室のウェブサイトで紹介しています。

ぜひ、右記のQRコードからアクセスしてください。

法律



文献



2 | 広島大学の現状と男女共同参画の取組

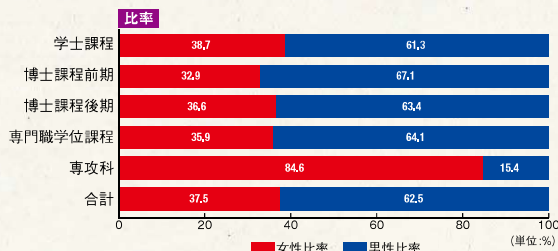
広島大学の学生・教員別男女比率

次に広島大学の現状を確認しましょう。令和5(2023)年5月1日現在における広島大学の学生に占める女性比率は、37.5%です。また、大学教員に占める女性比率は、19.8%となっています。本学においては、女性活躍推進法に基づく広島大学の行動計画(第2期)(令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)で数値目標(女性教員比率21%程度)を掲げています。目標に向かって着実に数値を伸ばしていますが、女性学生の割合に比べると女性教員の割合はまだ低いのが現状です。

●学生の課程別男女人数と男女比率

人数	女性	男性	合計
学 士 課 程	4,107	6,505	10,612
博 士 課 程 前 期	839	1,712	2,551
博 士 課 程 後 期	676	1,171	1,847
専門職学位課程	46	82	128
専 攻 科	11	2	13
合 計	5,679	9,472	15,151

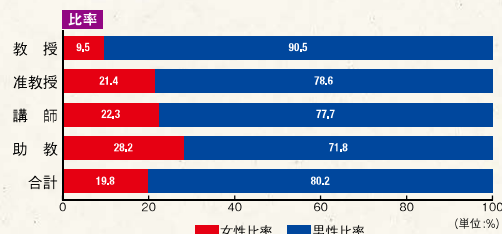
令和5(2023)年5月1日現在



●教員の職名別男女人数と男女比率

人数	女性	男性	合計
職 名			
教 授	54	512	566
准教授	105	386	491
講 師	21	73	94
助 教	159	404	563
合 計	339	1,375	1,714

令和5(2023)年5月1日現在



それは「猫の手プロジェクト」から始まった

広島大学における現在の学生や教員に占める女性の割合は上記に示したとおりですが、今から約70年前の大学設立時(昭和24(1949)年)の女性学生の割合は、7%程度でした。その後は、増加して学部生における女性の割合は、平成20(2008)年ごろからは40%程度、大学院生では30%を超える割合となっています。教員に占める女性の割合は、長い間、1割に満たないままでしたが、平成19(2007)年にやっと10%台となりました。その後徐々に増え、上記のとおり現在は、19.8%となっています。

こうした背景のもと、1990年代半ばに、女性教職員が子育て・介護と仕事を両立できるような環境整備を目指す活動「猫の手プロジェクト」が生まれました。この活動は、平成18(2006)年の「広島大学男女共同参画宣言」や、平成19(2007)年の男女共同参画推進委員会や女性研究活動委員会の設置につながり、様々な制度整備が実現しました。

平成20(2008)年には、こうして整備された制度や取組を実施する組織として男女共同参画推進室が設置されました。以来、男女共同参画推進室では、積極的は正措置(ポジティブアクション※注)への対応、子育て・介護と仕事の両立のためのサポートや父親の育児参加の推進、意識啓発のためのセミナー開催や女性研究者への研究支援などに取り組んでいます。

※注:積極的は正措置(ポジティブアクション)とは、「男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供すること」と、男女共同参画社会基本法(平成11(1999)年6月23日施行)に定義されています。



広島大学の男女共同参画の取組

広島大学は、ジェンダー平等に関する人材育成・意識啓発、男女格差是正のためのポジティブアクション、仕事と家庭の両立支援を目的に、様々な取組を行い、男女共同参画を推進しています。

人材育成・意識啓発

・意識啓発セミナー等の実施

女性研究者対象

- ・女性研究者奨励賞
- ・女性研究者交流会の開催
- ・女性研究者メーリングリストの運営

学生対象

- ・教養教育科目「ジェンダーと社会」開講
- ・男女共同参画関連テキスト発行・配付
- ・女性大学院生メーリングリストの運営

女性高校生対象

- ・体験科学講座
- ・オープンキャンパス時の質問・相談コーナー「お茶会」

ポジティブアクション

- ・「意思決定の場に両性の意見を反映する仕組みについて」提言と実行
- ・教員公募文書に「同等と認められた場合は女性を採用」と記載
- ・女性教員の専門領域別採用割合の目標値設定
- ・女性教員限定公募の実施
- ・学内昇任制度(女性教員限定枠)

仕事と家庭の両立支援

- ・学内保育園(東広島・霞キャンパス)
- ・学童保育(春季・夏季・冬季子どもクラブ)(東広島・霞キャンパス)
- ・病後児保育施設の利用料の補助(1000円×年間16回まで)
- ・ベビーシッター利用割引券発行

●教養教育科目「ジェンダーと社会」の開講

教養教育科目として「ジェンダーと社会」を開講しています。現在の社会におけるジェンダーを巡る諸問題について理解し、なぜ男女共同参画が必要なのか、どうすれば男女共同参画社会が実現できるのかについて考えますので、是非受講してください。



●女性研究者のすそ野拡大

オープンキャンパスでの「お茶会」

オープンキャンパス時に女性の高校生と本学の学生の交流の場を設け、高校生からの受験勉強や大学生活、研究のことなどの質問に学生が答えます。令和5年はオンラインにて開催しました。



女性高校生対象の体験科学講座

理工農系の研究室で実際に行われている実験などを、本学の教員と学生の指導の下、実習します。また、実習後は、高校生の質問に学生が答える懇談会を行います。



3 | 男女共同参画から多様性の包摂へ

ダイバーシティ

これまで男女について述べてきました。しかし、人は男女にきっちり二分されるわけではありません。身体の性的特徴 (sex characteristics) にはバリエーションがあります。自分がどんな性別だと感じるか (性自認=gender identity) が曖昧な人もいます。さらに、だれを好きになるか (性的指向=sexual orientation) という点でも、同性を好きになる人、男女両方好きになる人、性にこだわらず好きになる人、そもそも性的な意味で人を好きにならない人もいます。また、性的にどんな見かけとふるまいを選ぶか (性表現=gender expression) も、ひとそれぞれ、時と場合によります。

性を構成するこれらの4つの要素は、「ジョクジャカルタ原則+10」(2017年発表)で、一人一人の尊厳と人間性に不可欠とされています。広島大学では、「性の多様性に関する理念と対応ガイドライン—LGBT等の学生と教職員を包摂するキャンパスを目指して—」を定め、すべての構成員が、性が理由で差別されないことがないよう、安心してのびのびと活動できるよう、支援しています。

●広島大学の性の多様性についての基本理念

1. 性の多様性を尊重します

広島大学は、一人ひとりの性自認、性的指向、性表現、身体の性的特徴等の多様性を尊重します。

2. 性のありようによって差別しません

広島大学は、性の多様性と平等を基礎とし、性のありようを理由にした差別をしません。

3. 性に関する本人の意思を尊重します

広島大学は、本人がどのような性でありたいかという意思を尊重します。性のありようは、開示が非開示を含め、本人の意思でコントロールできなければなりません。

4. 性に関するインクルーシブな環境を構築します

広島大学は、すべての構成員にとってインクルーシブな環境を作ります。インクルーシブな環境とは、一人ひとりのありようが尊重され、それゆえに一人ひとりが安心して自分らしくあることができ、自分らしさを発揮して、新たな知の生産に心おきなく携わる環境を意味します。とりわけ性は、自分らしさを構築する重要な一要素です。広島大学は、性のありようにかかわらず、すべての構成員が安心して自由に活動できる環境を作ります。

性の多様性に関する理念と対応ガイドライン

—LGBT等の学生と教職員を包摂するキャンパスを目指して—

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/lgbtetc/>



ガイドライン



パンフレット

私たちの社会には、性の違いだけでなく、様々な違いが存在します。たとえば年齢、障害の有無と程度、民族の違い、さらには、価値観、宗教、政治的な信念、職業、専門性の違いなどです。

広島大学では2023年4月に「ダイバーシティ&インクルージョン推進機構」を設置しました。多様な一人ひとりが自分らしく参加できるような社会を目指しています。機構では「ダイバーシティ特定プログラム」や「アクセシビリティリーダー育成特定プログラム」を提供し、関心を共有する様々な学部の学生が、一緒に学んでいます。「ダイバーシティ特定プログラム」の履修表には、全学の関連科目がリストアップされています。自分の学部の外にも目を向けて、いろいろな人とふれあい、大学での学びを深めて下さい。

今後の社会では、多様な人々と共生、さらには自然環境との調和が不可欠です。それを具体的な目標として定めたのが、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) です。SDGsは、男女平等、貧困や飢餓、エネルギー問題、気候変動、平和構築など、たがいに連動する17の分野の目標から構成されています。広島大学の多様な取り組みは「広島大学FE・SDGsネットワーク拠点 (NERPS)」のサイトで知ることができます。学生の皆さんも、どんな目標達成に貢献できるか考えてみませんか。



広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構



広島大学の多様な取り組み

広島大学FE・SDGsネットワーク拠点 (NERPS) ウェブサイト

4 | それぞれの道を歩む先輩たち -学生へのメッセージ-

大学を卒業・修了したら、皆さんはそれぞれの道を進むことになるでしょう。自分の道を歩んでいる先輩たちの多様な姿を紹介します。紙面の都合上、学生の皆さんへのメッセージのみ掲載しています。全文はQRコードからウェブページを参照ください。

※所属・職名は現在と異なる場合があります。



MESSAGE1 ▶ 呉工業高等専門学校 准教授 小倉 亜紗美 (おぐら あさみ) さん

高等専門学校で教鞭をとりながら、環境保全についての研究と地域活動を行う、子育て中の研究者。外国籍の保護者を支援するツールの開発など、子育て経験を活かした取り組みも。



子育ては「新たな視点」をくれる

女性性は、結婚や出産をしたら自分が家事・育児をすべて背負わなければならないと思いこんでしまいがちですが、結婚しても、子どもが生まれても、自分の夢や目標を諦めずに追い続けることができます。諦めずに食欲に人生を謳歌してほしいと思います。男性にはもし子どもが出来たら、手伝いとしてではなく、主体的に子育てに関わってほしいと思います。その経験は、人生の充実度を深め、仕事にもきっと「新たな視点」をもたらしてくれると思います。



MESSAGE2 ▶ 安芸高田市 建設部上下水道課 陽岡 正教 (ひなおか まさのり) さん

民間企業を経て、市職員に。第2子誕生時に父として、1年間の育児休業を取得。



育児をとることだけが正解ではない

育児をとることが唯一の正解とは私は思いません。人それぞれ、捉え方、心の満たされ方が違います。私は、幸せとは「心が温かく満たされること」だと思っています。あくまで「私は」です。

だから私は、自分の心が満たされる状態が子どもとの時間なのであれば育児を取ったほうが良いと思いますし、そう感じないのであれば、育児を取らなくても良いと思います。

周りが育児を取っているから取る、よりも自分にとっての幸せとは何か、心が満たされる状態はどういう瞬間かを一度自分と向き合ってみてください。



MESSAGE3 ▶ 広島大学 一般職員 諏訪 春菜 (すわ はるな) さん

海外で身に付けたコミュニケーション・スキルを活かして、留学生のサポート業務に従事。



「違い」は「オリジナリティ」でもある

人と何か違いがあることで心細くなったり、違いがある分、大変なこともあるかもしれません。私自身、障がいがあることで難しい壁に直面することもあります。ですが、「違い」は「オリジナリティ」でもあると思います。これは、学生時代の先生が仰っていた言葉です。人と違うことが役に立ったり、何かに活かされることが、きっとあると思います。学業でも、社会に出てからも。学生のみならずには、違うことをマイナスとして捉えるのではなく、むしろお互いの違いや、違うからこそ見えてくる新たな発見をプラスに捉えながら学生生活を送り、将来を考えてほしいと思います。



MESSAGE4 ▶ こころひろshima 共同代表 當山 敦己 (とうやま あつき) さん

「こころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん!」をモットーにセクシュアルマイノリティの子どもたちとその保護者の居場所づくりを行っている。



「誰か」にとって大切な役割になろうこと

多様な性を受け止め合える社会を作ろうと、私は小さな講演会から活動をスタートさせ、現在は「こころひろshima」で、子どもたちと遊ぶ会を企画したり、学校で出張授業をしたりしています。

また、こころひろshimaの活動をする一方で、障がいのある方と関わる福祉の仕事もしています。同じ障がいであっても、生きづらさや大変さは一人ひとり違います。その人自身に向き合い、変化を間近で感じられることが私自身の活力になっています。

福祉の仕事も「こころひろshima」の活動も、社会にとって、そして「誰か」にとって大切な役割を担っています。皆さんもこれから過ごす時間の中で、「自分がどんな存在でありたいか」「自分に何ができるのか」を問いかけながら後悔しない人生を歩んでほしいと思います。